

# 子どもの将来の学力を伸ばす 絵本の読み聞かせ

～ 園だより9月号 園での読み聞かせ絵本のご紹介 ～

多くの本を読んで育つと、語彙やものごとの知識が豊富になるだけでなく、読解力・思考力・判断力・集中力・表現力・共感性が培われます。毎日のクラス毎の活動では、保育士が絵本や紙芝居の読み聞かせを実践中です。また、子どもたち自身も小さいうちから絵本を眺めたり、自分で読んだりしています。子どもたちは目をキラキラと輝かせ、絵本に集中しています。当園での年間読書量は約1000冊です。

乳幼児期から本に触れることにより、勉強の習慣付け、基礎学力の定着に繋がります。下記の通り、今月のおすすめ絵本をご紹介します。絵本選びの参考となれば幸いです。



## ★ 今月の読み聞かせ絵本のご紹介 ★

<赤ちゃん・たんぽぽ組 (0・1歳児)>		<すみれ組 (2歳児)>	
			
タイトル	おめでとう	タイトル	おおきなかぶ
作者	いしかわこうじ	作者	いもとようこ
出版社	偕成社	出版社	金の星社
<さくら組 (3歳児)>		<もも組 (4歳児)>	
			
タイトル	おしたちのうんどうかい	タイトル	さつまのおいも
作者	得田之久	作者	中川ひろたか
出版社	童心社	出版社	童心社
<ふじ組 (5歳児)>			
			
タイトル	さかあがり		
作者	佐藤弘道		
出版社	世界文化社		